

国語科学習指導案

平成 年 月 日 ()

第 時限

科	年 組	教室	指 導 者	** **	教科書	
単元	『『人間』を見つめる』 『『人工生命』について～命って何?』		付きたい国語の力 ふさわしい言語活動	文章に表れたものの見方, 考え方を読み取る。 話し合ったり批評したりする。		
単元目標	○文章を評価しながら読もうとする。 (関心・意欲・態度) ○主張の根拠を的確にとらえ, 内容について評価する。 (読む能力) ○文章の内容や形態に応じた表現の特色を理解する。 (知識・理解)		学習計画 [2時間扱い] 第1時限 新聞記事における筆者の主張をとらえ, 自分の意見を論述する。 (本時)【紙上ディベート】 第2時限 説得力のある論述を理解する。			
学習活動における評価規準	関心・意欲・態度	読む能力			知識・理解	
	①文章を評価しながら読もうとしている。	①主張の根拠を的確にとらえている。 ②内容について, その価値, 優劣, 是非などを評価している。			①文章の内容や形態に応じた段落構成や論理展開, キーワードや接続表現を理解している。	
本時目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事における様々な主張について, 根拠を的確にとらえることができる。 ・新聞記事における様々な主張の内容について, その価値, 優劣, 是非などを評価することができる。 					
資料	『『人工生命』について～命って何?』(新聞記事より抜粋)					
展 開	学 習 活 動		指 導 上 の 留 意 点		時間	評 価 の 実 際
	導 入	ア 「人工生命」の是非を問う新聞記事を読む。	・新聞記事を読む際, 人工生命の是非について, 各主張の根拠を的確にとらえ, 評価できるように注意する。		7分 一斉	
		イ 「紙上ディベート」について確認する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 「紙上ディベート」について ①ペアを組み, 「人工生命」の是非を問う新聞記事を読む。 ②肯定・否定の立場に立ち, ワークシートに立論を論述する。 ③ペアの立論を読み, 反論を論述する。 ④判定者が立論・反論を読み, 評価する。 </div>			
	展 開	ア 「人工生命」の是非を問う新聞記事をもとに, 根拠をもって立論する。	・新聞記事における各主張について, 根拠を的確にとらえた上で, その価値, 優劣, 是非などを評価するように注意する。 ・新聞記事の中で述べられている根拠にもとづいて立論するように注意する。		13分 個別	「読む能力」① ・新聞記事における各主張について, 根拠を的確にとらえているか, 机間指導をしながら活動状況を観察したり, プリントの記述を点検したりすることで評価する。 ----- 十分満足出来る生徒の様子 「人工生命」の是非について, 記事の中で述べられている根拠にもとづき, 自分の意見を論述している。説得力があるように表現も工夫している。
		イ 自分と反対の立場の人のワークシートを受け取り, その主張をとらえ, 根拠をもって反論する。	・相手の主張をとらえた上で, その価値, 優劣, 是非などを評価し, 反論するように注意する。 ・新聞記事の中で述べられている根拠にもとづいて反論するように注意する。		13分 個別	----- 努力を要する生徒への支援の手立て 漠然と反論している生徒に対しては, 机間指導の際に新聞記事の中で述べられている根拠にもとづき, 反論できるように配慮を促す。
ウ 判定者は, ワークシートに述べられている立論・反論のうち, 説得力のある主張を判定する。		・判定する際に, 説得力のある論述とはどのようなものか考えさせる。		10分 個別	「読む能力」② ・立論・反論の両方の論述を読み, その内容について, 価値, 優劣, 是非などを評価しているか, 机間指導をしながら活動状況を観察したり, ワークシートの記述を点検したりすることで評価する。	
ま 各自分で判定を確認する。 と 次時の予告。	・判定者が述べている判定理由をもとに自分の論述を振り返るよう助言する。		5分 個別 2分 一斉	・言語活動が, 付きたい国語の力に対して適切であったか。		